

ルノーがロシア事業から撤退一直ちに格付に影響を与えるものではないが、財務構成や最終利益に緩やかな下押し圧力

以下は、ルノー（証券コード：-）がロシア事業から撤退することについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 5月16日、欧州大手自動車メーカーであるルノーは、ルノー・ロシア株式の100%をモスクワ市の事業体に、保有するAVTOVAZの67.69%の持分をNAMI（中央自動車エンジン科学研究所）に売却する契約を締結し、ロシアから全面撤退する。
- (2) ロシア事業から生じる直接的なリスクからは遮断されるものの、20億ユーロを超える多額の減損損失が発生する見込みである。JCRでは、直ちに格付に影響を与えるものではないものの、当社の財務構成や最終利益に緩やかな下押し圧力がかかるとみている。
- (3) 他方、ルノーの主力市場である欧州の22年の販売台数は、ロシアのウクライナ侵攻により、経済が大きな影響を受けているほか、供給制約も重なりJCRの想定以上に低迷する可能性が高まっている。ルノーの22/12期第1四半期は、世界的な半導体不足とロシアによるウクライナ侵攻の影響により、世界販売台数が55.2万台（前年同期比17.1%減）、グループ売上が97億ユーロ（同2.7%減）となっている。JCRでは、欧州自動車市場の動向と合わせて、業績への影響を注視し、適宜、格付に反映させていく。

（担当）内藤 寿彦・上野 倫久

【参考】

発行体：ルノー（Renault）

外貨建長期発行体格付：A- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル